

終末の鳥瞰図

2025年10月5日

ルカの福音書 21・29～33

ヘブル人への手紙 9章27～28節

序：先週は終末論の4つのアプローチ

啓示（聖書）の内容の解釈

解釈の変遷

字義どおり → 逸脱 → 字義どおりの解釈に復帰（逸脱したままも多数
比喩的
折衷的

結論（私たちの立場）：聖書の預言の箇所は将来成就するできごとの預言

〃 は字義どおり解釈する

〃 は聖霊が解き明かしてくださる

神の靈感と聖書の権威への信仰

健全な聖書の学び、研究

終末論の鳥瞰

木（個々のテーマ）と森（概要）

時間軸の中心に大患難期を置く（その前後に起こることを時系列で列挙）

I. 大患難期の前に起こること

(1) (時系列)

- ①世界戦争
- ②イスラエルが国家として再建（離散している地から帰還）
- ③ユダヤ人のエルサレム奪還・統治
- ④北からの数ヶ国の連合軍がエルサレムに侵攻
- ⑤世界統一政府の出現
- ⑥十の王国（世界統一政府が分裂）
- ⑦反キリストの台頭
- ⑧一時的な平和と安全（⑥と⑦が進行中）
- ⑨反キリストとイスラエルの7年の契約（大患難時代のはじまり）

(2) (どの段階で起こるか不明)

- ①暗黒 (第一回目、全部で5回)
- ②エリヤの到来 (メシア再臨の備え)
- ③第三神殿
- ④教会の携挙
- ⑤キリストの御座のさばき (携挙された信者への報奨)
- ⑥キリストと教会との婚姻

⑤⑥は④の結果

(3)大患難期

イスラエルと反キリストの契約締結から始まる

7年間 (前半・後半 3年半づつ)

目的: 悪と悪人を処罰する

世界規模の大リバイバル

イスラエルの民を苦難を通して国民的回心へと導く

(4)キリストの再臨

携挙 (空中再臨) と再臨は別の出来事

前提条件なし 前提条件あり

大患難期より前 大患難期の最期

ハルマゲドンの戦いがクライマックス

(5)千年王国 (メシア王国)

キリストが王として統治する、義なる神政政治が地上で実現する

永遠の御国 (天国) とは別 千年、地上という時間的空間的制限がある

自然界の回復

悪魔の反乱、最後の審判

(6)永遠の御国 (天国)

時間を超越した、罪も死もない最終のゴール

神と民が永遠にともにいる祝福に満ちた天のすまい